

2024 年制定
複合構造標準示方書【構造物編】

目 次

1 章 総 則	1
1.1 適用の範囲	1
1.2 構造物の性能確保の基本	4
1.3 用語の定義	6
2 章 要 求 性 能	8
2.1 一 般	8
2.2 設計耐用期間	9
2.3 持 続 性	10
2.4 安 全 性	10
2.5 供 用 性	11
2.6 使 用 性	11
3 章 構造物の計画	12
3.1 一 般	12
3.2 構 造 計 画	12
3.3 維持管理計画	14
4 章 構造物の建設	17
4.1 一 般	17
4.2 構造物の設計	17
4.3 構造物の施工	18
5 章 構造物の維持	20
5.1 一 般	20
5.2 点 検	22
5.3 評価および判断	22
5.4 対 策	23
5.5 記 録	25
6 章 構造物の供用終了	26
6.1 一 般	26
6.2 構造物の撤去	27
6.3 構造物の存置	27
6.4 構造物の再使用	28
6.5 構造物の廃棄と再生利用	28

2024年制定

複合構造標準示方書 標準編

総目次

[調査標準]

1章 総則	29
2章 調査の計画	31
3章 調査の方法	40

[構造設計標準]

1章 総則	45
2章 作用の設定	49
3章 基本構造の設定	51
4章 構造詳細の設定	60
5章 材料および装置の設定	75

[性能評価標準]

1章 総則	79
2章 性能評価および性能照査の計画	89
3章 性能評価および性能照査の方法	96

[施工標準]

1章 総則	127
2章 施工計画	131
3章 施工および施工管理	146
4章 施工の検査	148

[記 録 標 準]

1 章 総 則	155
2 章 記録の種類と項目	157

2 0 2 4 年 制 定

複合構造標準示方書 改訂資料

目 次

[改 訂 資 料]

1. 複合構造標準示方書の改訂の概要	165
2. 複合構造標準示方書の構成	166
3. 複合構造標準示方書の適用方法	173
4. 改訂内容と技術的な改訂事項	177

2024 年制定
複合構造標準示方書〔調査標準〕

目 次

1 章 総 則	29
1.1 適用の範囲	29
1.2 調査の基本	29
2 章 調査の計画	31
2.1 一 般	31
2.2 構造物の計画段階の調査	31
2.3 構造物の建設段階の調査	32
2.4 構造物の維持段階の調査	32
2.4.1 構造物の性能評価のための調査.....	32
2.4.2 構造物の対策のための調査.....	38
2.4.3 維持管理計画の見直しのための調査.....	38
2.5 構造物の供用終了段階の調査	39
3 章 調査の方法	40
3.1 一 般	40
3.2 書類の調査	40
3.3 外観の調査	41
3.4 非破壊試験による調査および局所破壊を伴う試験による調査	42
3.5 計測による調査	42
3.6 公開情報の調査	43

2024 年制定
複合構造標準示方書【構造設計標準】

目 次

1 章 総 則	45
1.1 適用の範囲	45
1.2 構造設計の基本	46
1.3 用語の定義	47
2 章 作用の設定	49
2.1 一 般	49
2.2 作用の特性値	49
2.3 作用の種類	49
3 章 基本構造の設定	51
3.1 一 般	51
3.2 持続性に関する検討	52
3.3 安全性、供用性および使用性に関する検討	54
3.4 施工に関する検討	57
3.5 維持管理に関する検討	58
4 章 構造詳細の設定	60
4.1 一 般	60
4.2 部材詳細の設定	61
4.3 部材接合部の詳細の設定	64
4.4 持続性に関する検討	65
4.5 安全性に関する検討	65
4.6 供用性に関する検討	66
4.7 使用性に関する検討	66
4.8 耐久性に関する検討	67
4.9 施工に関する検討	68
4.9.1 一 般	68
4.9.2 鋼部材の製作・架設	68
4.9.2.1 コンクリートの施工に関する配慮	68
4.9.2.2 鋼材の溶接	69
4.9.2.3 鋼材とコンクリートとの接触面の処理	69
4.9.2.4 鋼部材の現場継手位置	69
4.9.3 コンクリートの施工	70
4.9.3.1 一 般	70

4.9.3.2	鋼板に囲まれた空間へのコンクリートの打込み	70
4.9.4	FRP 部材の施工	70
4.10	維持管理に関する検討	71
4.11	構 造 細 目	71
4.11.1	鋼材に関する構造細目	71
4.11.2	ずれ止めに関する構造細目	73
4.11.3	異種部材接合部の構造細目	73
4.11.3.1	一 般	73
4.11.3.2	異種部材接合部の補強	74
4.11.3.3	異種部材接合部の一体性	74
4.11.3.4	排水・防水処理	74
5 章	材料および装置の設定	75
5.1	一 般	75
5.2	材料および装置の特性値	75
5.3	材料および装置の種類	75
5.3.1	一 般	75
5.3.2	コンクリート	76
5.3.3	鋼 材	76
5.3.4	ず れ 止 め	76
5.3.5	F R P	77
5.3.6	接着用樹脂材料	77
5.3.7	その他の材料および装置	77

2024 年制定
複合構造標準示方書【性能評価標準】

目 次

1 章 総 則	79
1.1 適用の範囲	79
1.2 性能評価および性能照査の基本	80
1.3 用語の定義	81
1.4 記 号	82
2 章 性能評価および性能照査の計画	89
2.1 一 般	89
2.2 性能項目と限界状態および評価や照査に用いる指標	91
2.3 性能評価および性能照査に用いる手法の選定	93
3 章 性能評価および性能照査の方法	96
3.1 一 般	96
3.2 作用の設定	98
3.3 材料の設定	99
3.4 性能評価および性能照査に用いる応答値の算定	101
3.4.1 一 般	101
3.4.2 作用のモデル化	103
3.4.3 構造物のモデル化	104
3.4.4 地盤のモデル化	108
3.4.5 構造解析	108
3.4.6 応答値の算定	111
3.5 性能評価および性能照査	111
3.5.1 性能評価	111
3.5.2 性能照査	113
3.5.3 限界値の算定	114
3.5.4 安全性に関する評価および照査	115
3.5.5 供用性に関する評価および照査	116
3.5.6 使用性に関する評価および照査	119
3.6 安全係数	121
3.7 実験、実測に基づく性能評価および性能照査	123
3.8 外観変状に基づく性能評価	124

2024 年制定
複合構造標準示方書〔施工標準〕

目 次

1 章 総 則	127
1.1 適用の範囲	127
1.2 施工の原則	127
1.3 用語の定義	129
2 章 施 工 計 画	131
2.1 一 般	131
2.2 施工方法の検討	131
2.2.1 使 用 材 料.....	134
2.2.2 鋼部材の製作.....	135
2.2.2.1 一 般	135
2.2.2.2 鋼材の加工	135
2.2.2.3 部材製作時の溶接	136
2.2.2.4 部材製作時の防錆・防食	136
2.2.2.5 組立符号・輸送	137
2.2.3 鋼部材の施工.....	138
2.2.3.1 一 般	138
2.2.3.2 組立と架設	138
2.2.3.3 接 合	138
2.2.3.4 現場で実施する防錆・防食	139
2.2.4 コンクリートの施工.....	139
2.2.4.1 鉄 筋 工	139
2.2.4.2 型枠・支保工	140
2.2.4.3 コンクリートの打込み	140
2.2.5 FRP 部材の施工	140
2.2.6 防水工の施工.....	141
2.2.7 プレキャスト部材の施工.....	141
2.2.8 異種部材接合の施工.....	142
2.2.9 補修・補強における施工の留意事項.....	142
2.3 品質管理方法の検討	143
2.4 施工の検査の検討	144
2.5 施工計画の妥当性の確認	144
3 章 施工および施工管理	146

3.1	一 般	146
3.2	工程の管理	146
3.3	品質の管理	146
3.4	施工方法の変更	147
4章	施工の検査	148
4.1	一 般	148
4.2	使用材料の検査	148
4.2.1	鋼材の受入れ検査	148
4.2.2	接合用材料の受入れ検査	149
4.2.3	コンクリートの受入れ検査	149
4.2.4	FRP 材料の受入れ検査	149
4.3	鋼部材の製作の検査	149
4.3.1	一 般	149
4.3.2	溶接の検査	150
4.3.3	製作精度の確認および組立精度の事前確認	150
4.3.4	防錆・防食の検査	151
4.4	鋼部材の施工の検査	151
4.4.1	一 般	151
4.4.2	高力ボルトの締付け検査	151
4.5	コンクリートの施工の検査	151
4.5.1	一 般	151
4.5.2	施工時におけるコンクリートの充填の検査	152
4.6	FRP 部材の製作および架設の検査	152
4.7	防水工の検査	152
4.8	完成した構造物の検査	153
4.8.1	構造物・部材の位置および形状寸法の検査	153
4.8.2	コンクリートの充填の検査	153
4.8.3	表面状態の検査	153
4.8.4	鉄筋のかぶりの検査	154
4.9	補修・補強時に行う検査の留意事項	154
4.10	措 置	154

2024 年制定
複合構造標準示方書〔記録標準〕

目 次

1 章 総 則	155
1.1 適用の範囲	155
1.2 記録の基本	155
2 章 記録の種類と項目	157
2.1 一 般	157
2.2 構造物の計画に関する記録	157
2.3 構造物の建設に関する記録	158
2.3.1 構造物の設計に関する記録.....	158
2.3.2 構造物の施工に関する記録.....	159
2.4 構造物の維持に関する記録	161
2.5 構造物の供用終了に関する記録	163

2024 年制定
複合構造標準示方書 [改訂資料]

目 次

1. 複合構造標準示方書の改訂の概要	165
2. 複合構造標準示方書の構成	166
2.1 全体構成	166
2.2 構造物編	167
2.3 標準編	168
2.4 資料編	170
3. 複合構造標準示方書の適用方法	173
3.1 構造物の計画	173
3.2 構造物の建設	174
3.3 構造物の維持	175
3.4 構造物の供用終了	176
4. 改訂内容と技術的な改訂事項	177
4.1 構造物編	177
4.2 調査標準	178
4.3 構造設計標準	179
4.4 性能評価標準	179
4.5 施工標準	180
4.6 記録標準	181
4.7 資料編	182
4.7.1 作用編	182
4.7.2 材料編	182
4.7.3 調査方法編	183
4.7.4 評価方法編	183
4.7.5 部材・部位編	183